

よい会社をつくろう。よい経営者になろう。よい経営環境をつくろう。

月刊

同友

11 月号

2026
vol.724

P 03-06 特集

「お互いを知る」ことから 始まる、新たな連携へ

福岡県信用保証協会を知る会
&福岡県中小企業家同友会を知る会

P 10-12

第14回会員企業記者発表会レポート 社会課題に取り組む 同友会企業



Vision
わたしたちの目指す未来

創る人、働く人、来る人に、幸せな賑わいある福岡へ。



P 07-09 21世紀型自立型企业づくり

「幸せになりましょう」 ～同友会で一生の友人を得る～

株式会社リーシングサポート

代表取締役 吉住 征一 氏(福友愛支部)

LEASING Support



福岡県中小企業家同友会
月刊 同友の
バックナンバー

MONTHLY COMMUNICATION MAGAZINE DOYU



福岡県中小企業家同友会



お互いを 知ることから始まる、 新たな連携へ

福岡県信用保証協会を知る会&福岡県中小企業家同友会を知る会

日 時 2026年8月24日(月) 15:00~17:30
場 所 福岡県中小企業振興センター4階 会議室401
報告者 甲斐田 博臣 氏(福岡県信用保証協会 企業支援部 次長)
豊島 圭 氏(不動産の窓口株式会社 代表取締役(博多支部))



司会を務めた河邊浩之氏(北九州支部)

開催の目的 10年目の「再スタート」

今回の企画の目的は、その名称の通り、まずは「お互いを知ること」です。福岡県信用保証協会と福岡県中小企業家同友会は2016年に本格的な連携をスタートし、今年で10

同友会と金融機関は 「地域の未来づくりの パートナー」

福岡同友会は1963年の創立以来、「よい会社をつくる」「よい経営者になる」「よい経営環境をつくる」という三つの目的のもと、企業と地域経済の発展をめざして活動してきました。現在、全国約47000名、福岡では2400名を超える経営者が学び合っています。

また、金融問題についても長年にわたり取り組んできました。1997年以降の金融危機では「貸し渋り」

年という節目を迎えました。しかし、この10年間、双方の組織に所属する人たちが直接顔を合わせ、それぞれの役割や活動について深く知る機会を決して多くありませんでした。今回の会は、この10年間の関係を振り返るとともに、これからの連携をより実践的なものへ発展させるための「再スタート」ともいえる企画となりました。

同友会 3つの目的

よい会社をつくろう

同友会は、ひろく会員の経験と知識を交流して、企業の自主的近代化と強じんな経営体質をつくることをめざします。

よい経営者になろう

同友会は、中小企業家が自主的な努力によって、相互に資質を高め、知識を吸収し、これからの経営者に要求される総合的な能力を身につけることをめざします。

よい経営環境をつくろう

同友会は、他の中小企業団体とも提携して、中小企業をとりまく社会・経済・政治的な環境を改善し、中小企業の経営を守り安定させ、日本経済の自主的・平和的な繁栄をめざします。



今月の表紙

株式会社リーシングサポート

代表取締役 よしずみ せいいち 吉住 征一 氏(福友愛支部)



人、働く人、来る人に、幸せな賑わいある福岡へ

私が吉住征一さんをご紹介します！

株式会社エフタイムズ
ひろた あきひこ 廣田 明彦
(福友愛支部)



吉住さんと知り合っても 吉住さんは、人との縁をとう20年ほどになります。長い付き合いですが、ぐっと距離が縮まったのは、支部三役と一緒に務め、私が座長、吉住さんが報告者として例会づくりに本気で向き合った時でした。経営について何度も語り合い、お互いの考えや悩みまでさらけ出したあの時間が、今の関係につながっているように思います。今では経営のことはもちろん、家族のこと、これからの人生のことまで、何でも話せる大切な仲間です。

吉住さんは、人との縁をとても大切にする人です。そして、自分を格好よく見せようとせず、弱さも失敗も隠さない。だからこそ周りに人が集まり、「この人のためなら」と力を貸してくれる人がたくさんいるのだと思います。

経営者として刺激を受ける存在でありながら、何かあった時には遠慮なく本音で話せる友人でもある。そんな吉住さんと出会えたことは、私にとって同友会で得た大きな財産の一つです。

現場からひとこと



福岡の天神・博多エリアを中心に商業店舗専門の不動産事業を展開する株式会社リーシングサポートへ取材に伺いました。「創る人、働く人、来る人に、幸せな賑わいある福岡へ」と理念の一つに掲げる同社。一步社内に足を踏み入ると、その理念を体現するかのよう

に、社員の皆様が温かい笑顔で迎えてくださいました。街の価値を高め、人々に幸せな賑わいを提供するという熱い想いは、現場の明るく活気に満ちた社風にも深く根付いています。お陰で、働く人の魅力が伝わる写真を撮影することができました。地域に根差し、迅速かつ誠意あるサポートで福岡の未来を支える同社の姿勢が深く印象に残る取材となりました。

撮影・文 / 同友会事務局 有馬 愛

詳しくは7ページ「21世紀型自立型企业づくり」へ！



交流を深めたグループ討論

ります。さらに現在では、従来の「信用保証業務」だけでなく、創業支援、経営支援、再生支援、セーフティネット支援など、企業のライフステージに応じた幅広い支援を行っています。

す。特に2018年からは経営支援を主たる業務の一つに位置づけ、金融支援と経営支援を「二本柱」としていることが紹介されました。中でも参加者の関心が高かったの

が専門家派遣制度です。創業期、成長期、事業承継、経営改善などの課題に応じて専門家の支援を受けることができ、過去3年間では503社が利用しています。その大半が無料で利用できるという説明には、「このような制度があることを知らなかった」という声も聞かれました。

また、専門家派遣は金融機関からの紹介だけではなく、直接の問い合わせやFAX、QRコードからの申し込みも可能であり、経営課題をヒアリングした上で適切な支援メニューにつなげてもらえることも確認されました。

このほか、経営者保証を不要とする取り扱いや、福岡県・福岡市の資金繰り支援などについても説明がありました。制度は「知っているか、知らないか」で経営の選択が大きく変わります。今回の報告を通じ、信用保証協会が単に融資の際に保証をする機関ではなく、中小企業の経営そのものを支える存在へと役割を広げていることを、多くの参加者が改めて認識しました。



甲斐田博臣氏による信用保証協会の紹介



豊島圭氏(博多支部)による同友会の紹介

づくりのパートナー」なのです。

福岡県信用保証協会と 福岡同友会約30年の歩み

「貸しはがし」が大きな社会問題となり、同友会は金融アセスメント制定運動を展開しました。その過程で私たちが学んだのは、金融機関に「貸し手責任」を求めるだけではなく、経営者自身も「借り手の姿勢」を問い直し、経営指針に基づく強い会社づくりを進めることが重要でした。こうした活動は、金融機関との信頼関係を深める契機にもなりました。

福岡同友会が会として福岡県信用保証協会と初めて出会ったのは1997年でした。1990年代後半、金融不安が広がり、消費税率が3%から5%へ引き上げられるなど、中小企業を取り巻く環境が大きく変化していた時期です。当時の勉強会では、保証協会の成り立ちや制度、県内支所の配置、金融情勢などについて活発な意見交換が行われま

した。
その12年後の2009年、リーマンショック直後には、日本政策金融公庫と福岡県信用保証協会を招き「中小企業のための融資説明会」を開催しました。金融円滑化法が制定され、信用保証協会の存在が改めて注目された時期でもあります。翌年度以降は保証協会単独での懇談会・交流会を継続し、定時総会や経営者フォーラムにも来賓として参加いただくなど、顔の見える関係を積み重ねてきました。
そして2016年8月、これまでの交流を土台として業務提携を締結

しました。以後、定期的な訪問による景況調査の共有や金融に関する意見交換、保証協会主催の事業承継セミナーへの講師派遣、金融・保証に関するアンケートの実施と結果共有、経営相談から金融相談への連携など、関係はより実践的なものへと発展してきました。今回の「お互いを知る会」は、こうした約30年の歩みと、業務提携10年の積み重ねの上に実現したものです。

知らなかった 「信用保証協会」の 幅広い役割

当日は、まず福岡県信用保証協会企業支援部長 甲斐田博臣氏から、その役割や各種制度、経営支援について詳しく報告していただきました。

信用保証協会は、中小企業の公的な保証人として金融の円滑化を図る認可法人です。福岡県内の中小企業の利用度は53%で全国2位、利用企業は約6万9000〜7万社以上

グループ討論で見えてきた 「顔の見える関係」の大切さ

報告後は「報告を聞いて今後の経営にどう生かしていきますか」をテーマにグループ討論を行いました。

討論では、「経営支援制度を自社の課題に合わせて活用したい」「緊急経済対策などの情報をもっと会員に周知してほしい」「金利環境が変化する中で、保証協会や金融機関と相談しながら制度を活用していきたい」といった意見が出されました。

特に印象的だったのは、参加者から「保証協会は金融機関の後ろにいる存在だと思っていたが、直接、中小企業の経営支援も行っていることが分かった」という趣旨の声が上がったことです。制度を知るだけでなく、「困った時に誰に相談すればいいか」を知る。そして相談できる相手の顔が見える。この関係こそが、地域金融において非常に重要なのではないのでしょうか。

波乱万丈の起業から、
信頼できる社員を増やし、
地域の不動産の価値創出に身を尽くす
会員の報告です。

同友会で
一生の友人を得る

「幸せになりましたよ」



会社が運営するレンタルスタジオ
On your marks



株式会社リーシングサポート
代表取締役
吉住 征一 氏
福友愛支部

取材＝広報情報委員会 文＝菅原弘(東支部) 写真＝有馬愛(事務局)

波乱万丈の起業

今回の取材は福岡市天神で不動産リーシング業に携わる吉住征一さんです。

吉住さんは、1968年福岡市箱崎で生まれます。久留米市で育ち立命館大学に進み、卒業後は『ふくおか経済』の記者として6年勤務しました。その後、取材先の不動産会社に転職します。2年ほど経った頃、記者時代の先輩から「新しい雑誌を立ち上げるから力を貸してくれ」と言われ出版の世界に戻りましたが、1年経たないうちに給与未払いとなり、そこも退職します。個人事業主としてフリーライターになります

が、生活もままならない状態に陥りました。そんな頃、不動産会社時代の同僚から「新しい不動産情報サイトを作ろう」と誘いがあり、なけなしのお金をはたいて共同経営に乗り出します。代表取締役と

して、東京・大阪に支店を出し、社員数も30人規模に拡大します。ただ実際は売上利益が伴っておらず、1億円にも及ぶ借入や投資をしました。連帯保証を一人で背負い最終的に、他の共同経営者たちと方向性の相違も出て、代表解任となりました。

不動産業とは縁を切り実家に戻ろうとする中、前社の社員から「一緒にやりましょう。付いていきます」と声をかけられたことをきっかけに、会社を起業することにしました。これが現在の会社(株)リーシングサポートです。2007年4月、7人でのスタートです。まさに波乱万丈の起業となりました。吉住さんは「私に付いてきてくれた社員たちと一緒に、幸せになろう」と心に誓いました。

不動産リーシングとは、商業用不動産の賃貸を支援する業務です。入居者募集をして直接条件を交渉し契

10年目を「次の10年」のスタートに

交流会では、保証協会側からも10年間、直接顔を合わせる機会がなく、お互いの具体的な取り組みを十分把握していなかった」という率直な話がありました。だからこそ今回、同じテーブルを囲み、お互いの活動や考え方を知ることができた意義は大きかったと思います。

信用保証協会には「金融支援と経営支援」という強みがあります。一方、同友会には、経営理念や経営指

針づくり、人材育成、会員同士の学び合いを通じて企業体質を強化していくという強みがあります。双方の強みを生かすことで、地域の中小企業をより力強く支援できる可能性があります。

今回の交流会では、「名刺交換だけで終わらせない」ことも確認されました。SNS活用などの身近な課題も含め、まず相談してみる。その小さな一歩から具体的な行動や実践に

つなげていくことが大切であることが確認されました。

今回の「お互いを知る会」はゴールではなく、スタートです。

金融機関、信用保証協会、同友会、そして地域の中小企業が「人」を介してつながり、それぞれの強みを生かす。その連携によって企業が強くなり、そこで働く社員とその家族が幸せになり、地域に雇用と活力が残っていく。これこそが、私たち政



グループ討論後に信用保証協会側からもコメント



グループ討論発表

策金融部会が目指す地域づくりだと考えています。

提携10年という節目を、次の10年に向けた新たな出発点にする。

今回生まれた「顔の見える関係」を大切に育てながら、福岡県信用保証協会をはじめとする金融関係機関との連携をさらに深め、「よい会社」「よい経営者」「よい経営環境」づくりへつなげていきたいと思っています。



文／政策金融部会長
中川 甚広(のおがた支部)



賃金としています。私たちが証明したいのは、「人はコストではない」ということです。

仕事の基本は「約束」だと考えてい

社会課題に取り組む 同友会企業

第14回
会員企業
記者発表会
レポート

日時 2026年8月28日(金) 14:00~16:00

場所 同友会全体会議室

毎年2回開催している会員企業記者発表会。今回のテーマは「社会課題に取り組む中小企業」です。高い志を持って社会課題に取り組んでいる会員企業4社を紹介しました。参加メディアは西日本新聞社でした。

発表①

「残る賃上げ」で社員と次世代の 未来を支える

e-FitsLab株式会社

代表取締役

縦山 英宗 氏 (南支部)



当社は、企業型確定拠出年金（企業型DC）の制度設計や導入支援、投資教育に取り組んでいます。「社員さんが安心して暮らせる未来を中小企業の経営者と一緒に作る」ことが、私たちの使命です。

今、中小企業には継続的な賃上げが求められています。しかし、経営者が社員のために給与を増やしても、税金や社会保険料の負担が増え、その努

力が十分に手取りや安心につながらない現実があります。そこで私たちは、賃上げの原資を企業型DCで積み立て、将来の資産形成につなげる「給与増額DC」を考案しました。社員さんのために用意したお金を、老後の備えとして残す選択肢をお届けしたいと考えています。

まず、企業の資金力や社員さんの生活状況を確認し、通常の賃上げや併用も含めて比較します。原則60歳まで引き出せないことや、運用によって元本割れる可能性も説明します。社員さんの納得を置き去りにせず、適さない場合には「導入しない提案」も行います。また、中小企業で働くという理由だけで、老後の安心に差が生まれてほしくないと考え、制度を導入した後でも学び続けられるよう、企業型DC投資教育協会を設立しました。

現在は、企業型DCに加入した社員さん1人につき毎年100円を次世代支援に寄付する「年金アクション」にも取り組んでいます。寄付を収益構造に組み込み、仕事を広げるほど子ども

たちへの支援も増える仕組みです。社員の未来と子どもたちの未来を、事業を通して支えていきます。

発表②

「人はコストではない」を 経営で証明する

ATUホールディングス株式会社

代表取締役

岩崎 龍太郎 氏 (福博支部)



当社は警備業を通じて、障がいのある人や働きにくさを抱える人の雇用に取り組んでいます。現在、社員は51人。そのうち障がいのある人は実人数で61%、生活困窮者などを含めると88%です。障がいの有無にかかわらず同一

発表③

子どもたちと共に育ち、 安心できる居場所をつくる

社会福祉法人わんぱく福祉会

理事長

射場 小百合 氏 (のおがた支部)



私の活動の原点は、次男の妊娠中に体調を崩し、長男の預け先がなく困った経験です。同じように困っている人の力になりたいと、2000年に家庭保育園「わんぱくハウス」を開設しました。障がいや疾患などで預け先が見つからない子どもたちも受け入れ、保護者の声に耳を傾けながら歩んできました。

経営難や家庭の問題、組織の危機が重なり、心が折れそうになったことも

あります。そんな私を支えてくれたのが、職員と子どもたちでした。「先生」としてがみつくり抱いた時「私が抱っこしてあげているんじゃない。私が抱きしめられているんだ」と気づきました。この子たちに恩返しをしたい。その思いが、前に進む力になりました。2016年には同友会に入会し、経営を基礎から学び、実践していきました。その後、卒業する子の保護者から「ここで働かせてもらえませんか」と相談を受けました。職員も「できない時は私たちが助けます」と応じ、一般就労が実現しました。その姿に、ほかの子どもたちも働く夢を持つようになりました。私は将来も残る居場所をつくらうと社会福祉法人を設立し、生活介護と三つの就労支援事業を備えた「おおぞらハウス」を開設しました。

現在は、米粉スイーツの「こめっこ工房」や「わんぱく食堂」も運営しています。大切にしているのは、子ども、利用者、職員が共に育つ「共育」です。地域の皆さんと力を合わせ、いつまでも安心して過ごせる場所を守っていきます。

9月26日(土)開催
参加した新会員▶22人

NEXT

11月26日 木
ご参加を
お待ちしております。



2026年度 第5回 理事会議事録

理事会議事録の詳細はe.doyuの「文書管理」にある「理事会議事録」にてご覧ください。

開催日時 9月24日(木) 14時30分～17時57分

出席数 33名(出席率86.8%)

会場 だいふく本店会議室

議長 小屋根 雄作

[審議・協議事項]

1 入退会審査

重松副代表理事より入会ならびに退会の提案があった。入会15名、退会10名(うち未収あり退会1名)が承認され、9月承認会員数は2,444名となった。なお、退会申請者の会費未納による行事参加費未収分の債権放棄について承認された。

2 「全体構想」について

「組織」および「活動」工程表について進捗報告があった。継続協議。

3 定時総会質問への回答方法について

質問への回答を従来の支部役員会を通じて全会員にお知らせすることに加え、e.doyu 掲示板に掲載することが提案・承認された。

4 総会表彰の対象について

経営実態調査の回答率及び回答数を2027年5月の定時総会から総会表彰項目に追加。今期に関しては2026年10～12月と1～3月の2回の合計での回答率及び回答数の表彰をする。2028年総会からは年4回の合計で表彰する。また、経営指針書の成文化率、実践率、声掛け率、企業変革支援PGの登録者数及び登録者率の高い支部を表彰することが提案・承認された。

5 企業づくりより

経営指針の声かけ状況および企業変革支援プログラムVer.2登録状況が共有され、引き続き声かけと促進に取り組むよう呼びかけられた。

6 人を生かす経営推進本部より

インタビューシップの開催意義を踏まえ、全県として取り組む必要があるということと、そのために仮に全県で取り組む際はどのセクションで担当すべきかについて提起された。また、すでに開催されている北九州・県南地区での開催成果や問題点について意見交換した。

7 同友会づくり推進本部より

2030年に開催される青年経営者全国交流会の開催地立候補について提案された。また、開催地決定の選考基準や誘致に向けた青年経営者部会の取り組みについて説明された。来年のプレゼン大会時に開催地が決まる。また、青年経営者部会では、オール青年部例会11月、1月開催への参加が呼びかけられた。

8 総務財政室より 会員基礎情報調査について

会員基礎情報調査の実施と調査項目についてこれまでの意見等を踏まえて提案された。経営指針の検証の設問箇所を修正する前提で承認された。

9 福岡地区より 支部特定活動について

前回提案のあった「活動に係る細則」第6条および第7条の見直しについて、前文が修正され、協議された。まずは総務財政室で問題・課題を整理することとした。役員会でも引き続き意見を求める。

10 県役員選考委員会より 副代表理事候補者について

副代表理事体制を8名とすることについて提案され、推薦が承認された。

・重松 和孝(再任、飯塚支部)
・吉村(栗山)浩(再任、南支部)
・植原 憲一(再任、りょうちく支部)
・松木 祥也(再任、北九州支部)
・森 慎吾(新任、福友和支部)
・花田 理恵(新任、西支部)
・中原 亜希子(新任、ひびき支部)
・小屋根 雄作(新任、のおがた支部)

[報告事項]

会員企業の動き

■経営革新計画承認企業

●2026年8月(県4件/うち同友会会員企業0件)
※累計で福岡県全体では10,373件、会員企業は延べ609件。

■報道記事など

●2026年9月11日 西日本新聞(会員企業記者発表会)
●2026年9月19日 16:20～放送のRKBテレビ「志、情熱企業」に出演(株)アーキテックス 栗山 浩氏・大力 和岳氏・西村 政彦氏・山住 祐司氏(いずれも南支部所属)
●2026年9月20日 朝日新聞フロントランナー「ばあちゃん」働き、地域に笑顔 大熊 充氏(りょうちく支部)

私たちは柳川市で、「卒業ができる就労支援」を掲げて事業を続けています。障がいがあっても、自分が興味を持つ仕事に就き、一般企業で活躍してほしい。そのためのステップとして、賃金を得ながら経験を積める就労継続支援A型を選びました。

利用者さんの可能性を広げるため、アパレルショップやリラクゼーションサロン、いちご観光農園、直営カフェなど、さまざまな仕事を作ってきました。

発表④

「卒業ができる就労支援」で働く可能性を広げる

株式会社SoiL

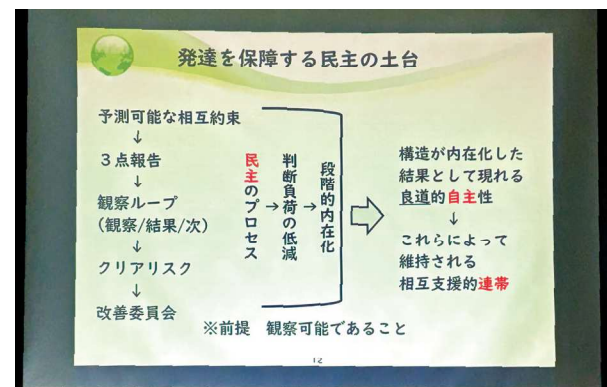
代表取締役

荒巻 健志 氏(中央支部)

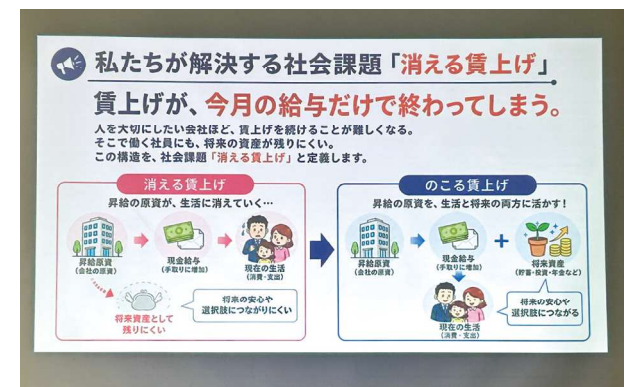


た。接客が得意な人は店頭立ち、対面が苦手な人は検品や商品整理を担当するなど、それぞれの適性に合わせて役割を考えています。

いちご農園を始めたきっかけは、コロナ禍でした。企業からの受託作業が止まり、下請けだけでは利用者の仕事を守れないと痛感したのです。知り合いの農家との縁や農福連携の補助金を生かし、自分たちで完結できる事業に踏み出しました。当初は私が付きっきりで指示していましたが、今では栽培のほぼ全工程を利用者が担い、自分の役割に責任を持って作業を進めています。



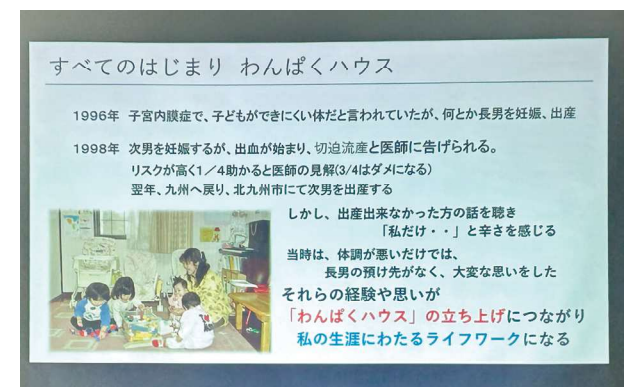
岩崎氏スライド



樺山氏スライド



荒巻氏スライド



射場氏スライド

文・写真:広報情報委員会 南 史聡(西支部)



地域づくり推進本部

9月 第12回情勢勉強会
15:30～18:30
福岡県中小企業振興センタービル401会議室
福岡市博多区吉塚本町9-15
福岡県中小企業振興センタービル4F
☎ 092-686-1234
中小企業を取り巻く経営環境を学び、自社経営に生かす
■松井 清充 氏
中小企業家同友会全国協議会 参与

経営労働委員会

14土 経営指針作成あすなろ塾
9:15～17:45
福岡県中小企業振興センタービル501会議室
福岡市博多区吉塚本町9-15
福岡県中小企業振興センタービル5F
☎ 092-686-1234

同友すばる委員会

14土 事業承継塾第4講
14:00～17:00
電気ビル本館 地下2階 7号会議室
福岡市中央区渡辺通2-1-82
☎ 0120-222-084
事業承継時のトラブル
■森 勇馬 氏
直方駅前法律事務所 代表者
(のおがた支部)

16月 飯塚支部11月例会
18:30～21:00
パドドゥール・コトブキ
飯塚市片島1丁目7?62
☎ 0948-22-5138
AIを使う経営者、AIに使われる経営者～造園屋の社長がAIを仕事で使い続けた3年間～
■森 祐太郎 氏
庭喜屋有限会社 代表取締役(飯塚支部)

共同求人委員会

16月 大学就職担当者との懇談会
17:00～19:00
リファレンス駅東ビル 会議室V-1
福岡市博多区博多駅東1丁目16-14
リファレンス駅東ビル
☎ 092-432-0058

17火 博多支部11月例会
18:30～21:00
天神チクモクビル
福岡市中央区天神3-10-27
☎ 092-715-3250
経営指針書って、本当は何?よい経営者になる、よい会社をつくるための経営の”軸”
■中野 麻里絵 氏
マリイエステティック株式会社 代表取締役(福友愛支部)

17火 玄海支部11月例会
18:30～21:00
天神ビル9号会議室
福岡市中央区天神2-12-1
☎ 0120-323-920
もし明日あなたが倒れたら…経営を止めないための健康診断と健康経営
■中村 吉孝 氏
福岡輝栄会病院 院長(玄海支部)
■村平 奈菜子 氏
テライク 代表者(玄海支部)

17火 福友和支部11月例会
18:30～20:45
アクア博多 A会議室
福岡市博多区中洲5-3-8
☎ 092-263-4770
WEB会議システム「Zoom」(ZoomミーティングID等は別途連絡)なぜ、あの会社は選ばれるのか?～共感と信頼で、お客様に応援される会社づくり～
■稲員 諒翔 氏
株式会社こころことばアカデミー 代表取締役(福友和支部)

17火 糸島支部11月例会
18:30～21:00
糸島市商工会 大会議室
糸島市前原北1-1-1
☎ 092-322-3535
想いだけで終わらせない～経営指針書で実現する、理想の会社づくり～
■檜原 憲一 氏
株式会社カラーリングファーム 代表取締役(りょうちく支部)

17火 北九州支部11月例会
18:30～21:00
小倉リーセントホテル
北九州市小倉北区大門1-1-17
☎ 093-581-5673
知る・伝える・つながる!異業種交流×自社PR

17火 のおがた支部11月例会
18:30～21:00
ユメニティのおがた直方市山部364-4
☎ 0949-85-1007
人口減少と少子高齢化に備える地域ぐるみでつくる顧客と人材～未来へ布石を打つ田川支部の取り組み～
■高嶋 正治 氏
株式会社プラスアルファ 代表取締役(のおがた支部)

17火 大牟田支部11月例会
19:00～20:00
グランドホテル清風荘
大牟田市原山町2-4
☎ 0944-56-1212
経営指針書発表
先代からのバトンを受け継ぎ、今思う会社への想い、そしてこれから(仮)
■内田 亮 氏
内田鉄工株式会社 代表取締役(大牟田支部)

17火 りょうちく支部11月同友会を知る会
18:00～20:00
北野生涯学習センター
久留米市北野町中273-1
☎ 0942-78-2308
同友会と私
■梅田 孝幸 氏
行政書士うめだ法務事務所 代表者(りょうちく支部)
■稲吉 広樹 氏
有限会社千広農産 代表取締役(りょうちく支部)

18水 東支部11月例会
18:00～21:00
ホテルクリオコート博多
福岡市博多区博多駅中央街5番3号
☎ 092-472-1111
どうしたらこんな幹部と一緒に働けるのか。～幹部が本気で支えたいくなる経営者とは～
■齊藤 大作 氏
アトモスダイニング株式会社 取締役(東支部)
■田中 大貴 氏
株式会社すこやか工房 常務取締役(東支部)

18水 西支部11月例会
18:30～20:45
アクア博多 A会議室
福岡市博多区中洲5-3-8
☎ 092-263-4770
助産師の視点から語る!社員が安心して働ける環境づくり～社員の変化や悩みに気づき安心して相談できる企業風土をつくる～
■古市 菜緒 氏
株式会社パースリンク 代表取締役(西支部)

18水 田川支部11月例会
18:30～20:30
福岡県立大学中セミナー室
田川市伊田4395
☎ 0947-42-2118
データに基づく経営を行う中小企業家となれ～経営実態調査は素晴らしいデータボックス～
■新内 一秋 氏
株式会社筑紫工業 代表取締役(南支部)

19木 筑紫支部11月例会
18:20～20:50
筑紫野市生涯学習センター
筑紫野市二日市南1-9-3
☎ 092-918-3535
地域課題解決ビジネスに関するテーマ
■徳永 憲司 氏
合同会社ふうど 代表社員(博多支部)

19木 中央支部11月例会
18:20～20:30
天神チクモクビル
福岡県福岡市中央区天神3-10-27
☎ 092-715-3250
視野を広げて視座を高め、自社経営に生かす～支部を超えた学びが会社を強くする～
■船木 治 氏
サン・フカヤ有限会社 代表取締役(中央支部)
■後藤 大輔 氏
光雲法律事務所 弁護士(中央支部)
■平野 裕一 氏
株式会社主体的なキャリア形成 代表取締役(中央支部)
■近藤 歩 氏
KATARU WORKS 代表者(中央支部)

19木 福友愛支部11月例会
18:30～21:00
アクア博多 A会議室
福岡市博多区中洲5-3-8
☎ 092-263-4770
WEB会議システム「Zoom」(ZoomミーティングID等は別途連絡)社員の主体性を育む経営～一人ひとりが輝き続ける企業づくり～
■麻生 有花 氏
スタイルクリエイイト株式会社代表取締役(福友愛支部)

19木 かすや支部11月例会
18:30～21:00
同友会会議室
福岡市博多区吉塚本町9-15-11F
☎ 092-686-1234
資金繰りと経営リスクマネジメント
■釜堀 隆司 氏
釜堀税理士事務所 代表者(かすや支部)

19木 ひびき支部11月例会
18:30～21:00
コムシティ大会議室
北九州市八幡西区黒崎3-15-3
☎ 093-641-9360
同友会を知る会
よい会社・よい経営者・よい経営環境をつくるための”第一歩”
■林田 孝一 氏
KOHU株式会社 代表取締役社長(ひびき支部)
■宮崎 郁 氏
株式会社DOL 代表取締役社長(ひびき支部)

企業連携推進委員会FAST

20金 FAST10月例会
18:20～20:30
福岡同友会事務局全体会議室
福岡市博多区吉塚本町9-15 福岡県中小企業振興センタービル11F
☎ 092-686-1234
ランチエスター戦略×中小企業小さな会社が業績を上げる連続セミナー
営業戦略:小さな会社の勝ち方
■深見 信吾 氏
深見経営株式会社 代表取締役(東支部)
■山崎 信一 氏
株式会社スタジオパッション 代表取締役(中央支部)

20金 有明支部11月例会
18:30～20:00
白柳荘
柳川市新町16
☎ 0944-73-1188
働きやすい会社から、働き甲斐のある会社へ～保育事業の10年間の歩み～
■阿部 弘美 氏
株式会社ChouChou 代表取締役(南支部)

24火 南支部11月例会
17:00～19:30
アクア博多 A会議室
福岡市博多区中洲5-3-8
☎ 092-263-4770
WEB会議システム「Zoom」(ZoomミーティングID等は別途連絡)「顧客に選ばれ続ける会社」とは
■川野 秀美 氏
かがわ・川野司法書士事務所代表司法書士(南支部)

フォローアップ部会

26木 新会員フォローアップセミナー
18:00～21:00
振興センター303
福岡市博多区吉塚本町9-15 3F
☎ 092-686-1234

女性部委員会

27金 女性部11月例会
17:00～19:00
天神チクモクビル 大ホール
福岡市中央区天神3-10-27
☎ 092-715-3250
アンコンシャスワークショッ

27金 久留米支部11月例会
18:30～20:45
ハynesホテル久留米久留米市天神町1-6
☎ 0942-32-7211
我社のマネジメント活動～想いが行動の源で、目標が活動を生む～
■郡 隆文 氏
シグマコンポーネント株式会社 代表取締役(久留米支部)

青年経営者部会・福博支部・青年支部合同例会(第3回オール福岡青年部)

27金
18:20～21:00
振興センター401
福岡市博多区吉塚本町9-15 3F
☎ 092-686-1234
「全部お前だよ」と言われて始まった経営改革～覚悟の「人を生かす」と「不離一体」の実践～
■梅田 益生 氏
有限会社ウメイチ 代表取締役(岐阜同友会支部)



月刊
同友

11
月号

2026
vol.724

会員
トピックス

ひびき支部合同ブロック会

ビールと平和を考える 親睦日帰りツアー

文・写真: KOHO 株式会社 林田 孝一 (ひびき支部)



ひびき支部では2つあるブロック（むつみ・結び葉）の合同ブロック会として、8月25日（火）に「会員同士の親睦を深める日帰りツアー」を開催、ゲスト・他支部からを含め、12名の参加となりました。

行き先は朝倉市の麒麟ビール福岡工場と大刀洗平和記念館です。ビール工場では、ガイドさんの案内のもと、見学エリアを巡りながら「麒麟一番搾り」の製造過程を学びました。今まで何気なく、（もちろん美味しく）飲んでいた一番搾りですが、一番麦汁しか使わないこだわりの製法、ホップを加えることで生まれるビール独特の苦みなど、その背景を学ぶことで、ビールへの愛情がより深まった見学となりました。見学の最後は注ぎたての一番搾りがお出迎え、その場は歓喜に包まれ、舌鼓を打ちました。

大刀洗平和記念館は戦時中、西日本における陸軍の航空拠点であった大刀洗飛行場の歴史や軍需品、戦争で亡くなった特攻兵や空襲犠牲者を展示する施設です。展示に見入りながら、当時の方々を思い、平和について考える時間となりました。

自社の経営や同友会活動など、普段は忙しい毎日を送る会員同士、この日は終始和やかな雰囲気の中で楽しく交流し、親睦を深めました。「またやりたいね」「他の会員にもぜひ参加してほしい」「またがんばろう」と明日につながる日帰りツアーとなりました。

今回の旅の行程

- 8:30 集合・出発
- 麒麟ビール工場見学
- ジギスカンランチ
- 大刀洗平和記念館見学
- 道の駅でお買い物
- 17:30 帰着・解散



一番麦汁と二番麦汁の飲み比べ



戦時中を想像しながら見入りました

2026年11月1日発行（毎月1回・1日発行）

福岡同友会

<https://www.fukuoka.doyu.jp/>

アンケートにご協力ください 回答締切 11月30日（月）

月刊同友では、皆様からのご意見・ご要望を募集しています。

よろしければQRコードからアンケートにお答えください。（所要時間 4分）



一般社団法人 福岡県中小企業家同友会

〒812-0046 福岡市博多区吉塚本町9番15号
福岡県中小企業振興センタービル11階
TEL:092-686-1234 FAX:092-686-1230

北九州地区センター

〒802-0001 北九州市小倉北区浅野1-2-39
クルーズ浅野ビル808号
TEL:093-551-3111 FAX:093-551-3344

県南地区センター

〒830-0038 久留米市西町1367-1
祥栄ビル2階
TEL:0942-33-3355 FAX:0942-33-3366